

ライブラリーサポーターおすすめ本 : テーマ「新生活」

	タイトル	著者名	出版社	請求記号	資料番号	コメント
1	『京都とおきの道を歩く』	井上明久	メタモル出版	291.62/イキ	31605005337	もう見飽きた筈なのに、ちょっと視点をずらし歩けばいつだって心をウズウズさせてくれる京の道。ビルと町家造りの家がそしらぬ顔で共存する光景が原因なのかなんなのか。 進学を気に京都へ来た人、地元だけ何気なく過ごしていた人……etc.。日常になったであろう通学路を今一度眺めてみては？
2	『序破急と間のサイエンス / 能への誘い』	金春國雄	淡交社	773/コクノ/1 773/コクノ-w/1	18741708795 11403008337	カップルたちの定番デートスポットと言えば映画館ですが、京都なら、そう、能楽堂です。これからの付き合いで、誰かから能楽堂に誘われた時、恥じぬ鑑賞をしないようにある程度の能を知っておく必要があります。これを読んで能楽マスターになりましょう。
3	『キッチン』	吉本ばなな	新潮社	F/18	10210027465 10700037024	祖母の死から突然始まる少し変わった同居生活。 大切な人が死んでしまってもどれだけ寂しくても前を向いて生きていく力強さを感じます。静かだけれど胸が熱くなる、新生活を始めた人や今大切に思える人がいる人にお薦めの本です。
4	『論文の教室:レポートから卒論まで』	戸田山和久	NHK出版	081/エヌエ/1194 081/NHK/1194 816.5/トカロ	11200039813 21205016727 31205020064	学生にとってレポート課題は、いつも不安の種である。 そうした不安を取り除くために書かれたこの本は、非常に親しみやすい文章で論文のイロハを教えてくれる。しばしば、こうした本に対する印象は堅苦しいものであるが、この「論文の教室」は平明にかつ優しく読者に語りかけ、ユーモアある文章で論文の書き方をガイドしてくれる。レポート課題などに困る学生に必見の一冊。
5	『砂漠』	伊坂幸太郎	新潮社	F/18	11000019095	春、新生活の為仙台にやって来た大学生、僕事北村は其処で同じ大学生の鳥井達と出会います。物語は北村達の大学生活を描いたものですが、そこは流石伊坂幸太郎。突飛なエピソードを巧みに用いて青春最後の四年間を鮮やかに彩っている。特に好きなのは鳥井の見舞いを兼ねた麻雀大会。仲間の一人西嶋のサプライズが泣ける。
6	『小林カツ代のお料理入門』(正、続)	小林カツ代	文藝春秋	081/フジシ/1014 081/フジシ/1061	11500004203 11500124061	お手軽に作れる美味しい料理で有名な小林カツ代さんのお料理入門書です。初めて料理をする方も、そうでない方も、料理がメンドクさい、時間がかかる、と思っている方にオススメのこの1冊。 お料理エッセイもついていて読み物としても楽しめます。続編の“ひと工夫編”では失敗しないためのひと工夫も瀧 この本を参考にお料理マスターへの第一歩を踏み出すのはいかがでしょう？
7	『大学生が狙われる50の危険』	三菱総合研究所、全国大学生生活協同組合連合会、全国大学生協共済生活協同組合	青春出版社	377.9/ミツタ	11705002104	大学生になると1人暮らしやバイトを始めたり授業形式も変わったりと色々大変です。 この本は、そんな私達に起こりうるトラブルとその対応を紹介してくれます。